

2. 自己資本の充実度に関する事項

①信用リスクに対する所要自己資本の額及び区分ごとの内訳

(単位：千円)

信用リスク・アセット	平成29年度			平成30年度		
	エクスポージャー の期末残高	リスク・ アセット額 a	所要自己資本額 b=a×4%	エクスポージャー の期末残高	リスク・ アセット額 a	所要自己資本額 b=a×4%
我が国の中央政府及び中央銀行向け	200,436	-	-	200,470	-	-
我が国の地方公共団体向け	3,266,578	-	-	3,615,304	-	-
地方公共団体金融機関向け	-	-	-	-	-	-
我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-
地方三公社向け	-	-	-	-	-	-
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	67,740,399	13,548,080	541,923	72,599,277	14,519,855	580,794
法人等向け	294,521	294,521	11,780	249,356	242,625	9,705
中小企業等向け及び個人向け	1,217,372	714,798	28,591	1,121,559	675,212	27,008
抵当権付住宅ローン	937,367	325,169	13,006	1,046,339	361,131	14,445
不動産取得等事業向け	668,903	651,504	26,060	659,037	640,709	25,628
三月以上延滞等	173,396	150,428	6,017	108,843	36,297	1,451
信用保証協会等保証付	3,586,708	351,805	14,072	3,781,807	370,038	14,801
共済約款貸付	49,696	-	-	2,495	-	-
出資等	568,485	568,485	22,739	568,485	568,485	22,739
他の金融機関等の対象資本調達手段	4,849,885	12,124,714	484,988	4,850,205	12,125,514	485,020
特定項目のうち調整項目に算入されないもの	-	-	-	-	-	-
複数の資産を裏付とする資産（所謂ファンド）のうち、個々の資産の把握が困難な資産	-	-	-	-	-	-
証券化	-	-	-	-	-	-
経過措置によりリスク・アセットの額に算入、不算入となるもの	-	△ 3,022,740	△ 120,909	-	△ 3,026,340	△ 121,053
上記以外	5,742,807	5,123,711	204,948	5,586,768	4,979,278	199,171
標準的手法を適用するエクスポージャー別計	89,296,558	30,830,479	1,233,219	94,389,950	31,492,807	1,259,712
CVAリスク相当額÷8%	-	-	-	-	-	-
中央清算機関関連エクスポージャー	-	-	-	-	-	-
信用リスク・アセットの額の合計額	89,296,558	30,830,479	1,233,219	94,389,950	31,492,807	1,259,712
オペレーショナル・リスク に対する所要自己資本の額 <基礎的手法>	オペレーショナル・リスク相当 額を8%で除して得た額 a	所要自己資本額 b=a×4%	オペレーショナル・リスク相当 額を8%で除して得た額 a	所要自己資本額 b=a×4%	所要自己資本額 b=a×4%	所要自己資本額 b=a×4%
	4,418,098	176,723	4,273,393	170,935		
所要自己資本額計	リスク・アセット等（分母）計 c	所要自己資本額 d=c×4%	リスク・アセット等（分母）計 c	所要自己資本額 d=c×4%	所要自己資本額 d=c×4%	所要自己資本額 d=c×4%
	35,248,578	1,409,943	35,766,200	1,430,648		

(注)

- 「リスク・アセット額」の欄には、信用リスク削減効果適用後のリスク・アセット額を原エクスポージャーの種類ごとに記載しています。
- 「エクスポージャー」とは、リスクにさらされている資産（オフ・バランスを含む）のことをいい、具体的には貸出金や有価証券等が該当します。